



和以輪為 会津

ーわいわい あいづー

ボーイスカウト会津地区広報誌 第35号



「和をもって貴しとなす」(以和為貴)の一字を変えて「みんなで輪をもって仲良く進む」

会津地区

会津地区カブ隊合同集会(冒険家の探検!!)

平成29年6月25日に活動目標を「公共交通機関のマナーを学ぶ、組対抗での切磋琢磨させる」とし、追跡ハイキングと野外料理に挑戦しました。中央公園を出発し、会津坂下行きバスに乗って、

会津少年自然の家を目指して、追跡ハイキングで色々な課題をクリアし、目的地に到着しました。みんなで野外料理の豚汁を作り、美味しく食べました。



学びいなまつりに参加!!

平成29年7月16日(日)毎年開催している「学びいな夏祭り」に参加しました。



今年もタイトルを「スカウトパークへようこそ!」と題して、工作とゲームを楽しんで貰いました。約50名の子供たちが来てくれました。工作では「キッチンペーパーマスク・新聞紙のスリッパ・エビ結びブローチ・小枝のブローチ」の作成に挑戦してもらいました。

会津地区カブ隊合同キャンプ実施!!

平成29年7月16日から17日に国立磐梯青少年交流の家で合同キャンプを実施しました。

会津地区のカブスカウトが集まり、野外炊飯棟でバーベキュー料理に挑戦しました。途中、雨が止んだ時に、猪苗代第1団のカブスカウトに新しく入団した笠原君の入隊式を会津地区のスカウトが見守る中で実施しました。翌日は二班に分かれてスコアオリエンテーリングを実施、また、

午後はロープ結び、キムス・行商人・人工物を



探すゲームにチャレンジしました。

会津美里1団 活動報告

◎ビーバー隊・カブ隊 7月29日(土)

「木のおもちゃで遊びました!」

7月29日、30日に会津美里町本郷体育館で開催された「木育キャラバン」に行ってきました。木育は、木材の良さやその利用の意義を学ぶ活動のことで、子どもにとっては、木のおもちゃで遊ぶことです。等身大の積み木や木製の車や汽車、木球のプールなど、普段なかなか触れることのないおもちゃも多数あり、スカウト達は終了時間一杯まで遊んでいました。



◎ビーバー隊・カブ隊 8月11日（金・祝）
「キャンプの見学」

8月11日、福島市にある「つつじが森野営場」で行われていた「県合同隊キャンプ」の見学に行きました。スカウト達にとって、ボーイ隊のキャンプを見るのは初めてのことであったので、興味津々な様子でした。班サイトを見学し、野外炊事の様子やテントの様子を見学することができました。



また、初めての「つつじが森野営場」でしたので、観察ゲームなどの活動も行いました。

◎ビーバー隊・カブ隊 8月18日（金） 「お相撲さんを見る」

8月18日、湯川村で合宿をしていた大相撲・千賀ノ浦部屋の朝



稽古の見学行きました。稽古中でしたので、一緒に記念写真を撮らせてもらうことはできませんでしたが、スカウト達は初めて見るお相撲さんをしっかり見ていたようです。ぶつかり稽古は迫力満点でした。

◎ビーバー隊・カブ隊 8月27日（日）
「合同ハイキング」

8月27日、会津若松第2団、ガールスカウト埼玉20団、ガールスカウト福島3団との合同活動として、会津美里町本郷において、追跡ハイクを行いました。ガールスカウトとの活動は初めてのことであり、3つの混成班に分かれ、「本郷の城の殿様が町を守るために、みんなが持っているスカウト技能を教えてください」という想定のもと、本郷のブイチェーン前から白鳳山公園まで、追跡サインを追い、チェックポイントではスカウト技能を駆使し、ゴールを目指しました。ゴール後はみんなで昼食をとり、交流を深めました。



猪苗代第1団 活動報告

いなわしろスカウト育成会主催の「デイキャンプ」を開催！！



6月11日（日）に育成会長の長照寺でデイキャ

ンプを実施しました。昨年位続きで、ボーイスカウト・ガールスカウト・指導者・育成会員が一堂に会して行われました。午前中は2班に分かれて、追跡ハイキングが行われ、終了後長照寺で牛乳パックを使ったホットドッグを作って食べました。午後は、普段お世話になっている、賛助会員様にプランターに花を植えて、日頃のご協力に感謝して、それぞれの会員様にお届けしました。

カブ隊 舎営

6月17日～18日に国立磐梯青少年交流の家で舎営訓練をしました。ロープ結びや手旗・ソングの訓練をしました。また、翌日にはウォークラリーを実施し、天鏡台までラリーを楽しみました。
山へGO! 8月26日(土)



今年も磐梯山登山に挑戦しました！
八方台登山入口で記念撮影してから、出発しました。
あいにくの雨模様の天気でカッパを着ての出発になりました。途中、蒸れた陽気で汗が沢山流れました。弘法清水で一息ついて頂上に挑戦しました。頂上は風が強くて雲が中々晴れず、360度の景色を望めませんでした。猪苗代湖や檜原湖、会



津若松市の一部が望め、自分の家の場所を確認して楽しみました。弘法清水に戻り、山小屋で昼食を美味しく頂きました。弘法清水の清水をお土産に汲んで下山開始しました。天気は回復になり無事登山口に到着しました。カブスカウトは良く頑張ったので、ご褒美に「モンジュ」でアイスを食べました。

会津若松2団 活動報告



本願寺派スカウト大会

8月4日から6日まで、京都山科別院をメイン会場に全国の本願寺派スカウトが集まりました。西本願寺の本堂で、約400名が声を合わせてお参りをし、山科区での蓮如上人にかかわる歴史ポイントラリーや、比叡山ポイントラリー。琵琶湖の水質調査。自然環境ハイク。金箔をはってのお皿造り、におい袋造り等々もりだくさん。夜には、キャンプファイヤーの代わりに、「夜遊び広場」。各地域で店を出したり。ゲームコーナーがあったり！
夏の三日間、暑い暑いといいながら京都を堪能し、全国の本願寺派スカウトとお友達になってきました。



会津若松第1団 活動報告

ボーイ隊は8月8日～13日に行われた、「2017 県合同隊キャンプ」に参加しました。5泊6日で参加費7000円の激安野営です。「斥候術」をテーマに5日目のハイキング「Mission!」に向けて、様々な想定を施し「救急法」「通信法」「簡易測量法」「野帳と略地図」などなど、基本的スカウトスキルをゲーム化し展開しました。とは言え、初めての長期キャンプ参加者もあり、期間を通し雨と曇りの毎日、1級スカウトを想定してのプログラム、全てにおいて至らないことは重々承知です。それでも彼らは頑張りました。日を追うごとに成長がハッキリと見て取れました。

今回の合同隊キャンプについての率直な感想は、「正しいスカウティングに間違いはない!」という確信です。元々このキャンプを企画した背景には「本来のスカウトキャンプ」を体験してほしいというところから、班制度の意義、仲間意識、状況に屈しない精神、挑戦、進歩、達成感、誇りと名誉・・・あらゆる学びが「長期スカウトキャンプ」に詰まっていることを彼らは証明してくれました。

彼らの学びの裏には様々な困難がありました。雨の中で家型テントの設営、工作物も思うようには作れない、火が焚けずご飯が炊けない、未熟な技能に未体験のプログラム、辛いことばかりの野営生活だったに違いないのですが、日が経つとともに笑顔が増えていきました。私が体験させてあげたかった「スカウトキャンプ」

の成果は上々でした。技能の優劣ではなく困難をチームで乗り越える「スカウトキャンプの本当の楽しさ」に気付いてくれました。それは、おそらく初めての体験であろう自分たちだけで行う日々のスカウトオウンに現れました。期間後半のスカウトオウンは、私が今まで見てきたボーイ隊のスカウトが行うスカウトオウンで「見事!」と思わせてくれたのは今回が初めてです。また大営火時に今回のテーマソング「ピンクスの酒」の大合唱が今でも耳に残っています。



やはり夏のスカウトキャンプは長期でなきゃいけない。スカウトへの教育効果が明快です。大会も大切ですが、すべてのボーイ隊が、自隊での日ごろの訓練を最大限に活かせる「長期隊キャンプ」ができるようになれば、日本連盟の抱える多くの問題が解決できるのではと思います。

2017年(平成29年)9月21日 第35号

発行：ボーイスカウト福島連盟会津地区 http://www.geocities.jp/boyscout_aizu/top.html

会津若松市西七日町 8-31 田沢豊彦内 TEL0242-24-6316

発行責任者 山田 幸一(総務委員長)

広報誌編集委員 猪苗代1団 山田幸一 会津若松1団 佐治映二

会津若松2団 沖井玲爾 会津美里1団 横山正弘